

一般質問通告書

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

令和3年8月20日
東村山市議会議長 あて

議席番号 18番
質問者 村山じゅん子

記

1. 防災力をさらに強化するために

東日本大震災の教訓等を踏まえ、防災関係法令が改正、防災基本計画の修正、防災関連指針の改定が行われ、東京都地域防災計画も令和3年1月に修正が完了。当市においても修正を行ない修正案が示された。平成27年4月の修正から5年間の取組みと今後の取組みについて確認するとともに、さらなる防災力の強化を求め、以下質問する。

- (1) 東村山市地域防災計画の平成27年修正から5年間の取組みについて
(防災基本計画の概要に、主な修正点として17項目が示されている。修正により防災力が強化された点と事例があれば伺う)
 - ① 地区防災計画の普及等
 - ② 被害想定、減災目標の見直し(想定被害量の軽減に有効な対策を追加)
 - ③ 男女共同参画の促進(女性の参画を促進)
 - ④ 災害時要援護者避難支援体制の強化(名簿を適切に作成・活用するための措置を追加)
 - ⑤ 緊急避難場所・避難所の指定(基本法の基準による適正を確認、指定の見直し、市民等への普及策等を追加)
 - ⑥ 避難所・備蓄等の強化(避難所の追加、食料備蓄や防災倉庫の増設について、計画的に整備する措置を追加)
- (2) 東京都地域防災計画の修正に伴う東村山市地域防災計画修正(案)について
 - ① 東京都と東村山市各々の主な修正点と取組みを伺う。
 - ② 市の修正案概要に、小学校体育館へ空調設備を整備(※要配慮者のニーズに対応した環境整備)との記載がある。残り8校への整備計画について伺う。
 - ③ 災害時における電動車両等の支援に関する協定が締結された。協定とは別で市の庁用車に電動車両を導入する計画は進んでいるか伺う。
 - ④ 今後の方針について伺う。

(3) 指定緊急避難場所について

- ① 現在、市が指定している指定緊急避難場所、大火事を想定した避難場所は3ヶ所（八国山緑地、東村山中央公園、小平霊園）だが、狭山公園が指定されていないのに理由はあるか伺う。
- ② 東京都建設局狭山公園マネジメントプラン〔目標 1：地震災害時への対応のため、防災機能の強化・充実した都立公園〕に、避難場所候補地として、防災機能の強化・充実を図るとしている。この目標に関連した協議等は、おこなわれているのか伺う。
- ③ 指定緊急避難場所の指定は、災害対策基本法が定める基準により市が指定することとなっている。そのことから、東村山市が指定する考えがなければ、正式な避難場所とはならない。

都立狭山公園の近隣住民から、避難場所として防災強化を求める声があり、東京都建設局に対して、本年3月に署名を提出した。その際、東村山市が指定をおこなえば、防災機能の強化・充実に努めていきたいとの回答をいただいた。狭山公園を指定緊急避難場所とすることについて、見解を伺う。

(4) 防災行政無線について

- ① 防災行政無線の使用について、考え方を伺う。
- ② 放送の聞こえの確認はどのようにおこなったか、おこなっているか伺う。
- ③ 放送が聞こえない場合、自動電話応答システムで確認することができるが、対応は問題なく行われているか、現状と課題があれば伺う。
- ④ いざという時に避難誘導できないことが重大な災害につながる。今後の方針でデジタル技術の進展に取り残されることのないよう適宜検討するとしている。災害時の情報共有を最大限生かすために、パンクしないクラウドコールセンターや避難が必要な人に周知できる避難誘導にロボットコールといったものを早期に導入することを検討すべきと考える。見解を伺う。

(5) 災害備蓄品について

- ① 日用品の備蓄について、交換時期と処分法など基本的な考えを伺う。
- ② コロナ禍の中で、「生理の貧困」が話題になり防災備蓄品の生理用品を提供する豊島区の取り組みが全国的に広がった。その際、当市の生理用品の備蓄状況と交換時期を所管に確認したところ、生理用品には明確な使用期限がないため、目視等で傷んでいるものがあれば交換するとのことだった。それは、廃棄処分が前提である。廃棄しない災害備蓄を目指し、進めていくべきと考える。日用品のローリングストックについて、考えを伺う。
- ③ いざ災害時に使用できなかったというようなことがないように、災害備蓄品の管理等を委託することも視野に入れてはどうか、見解を伺う。